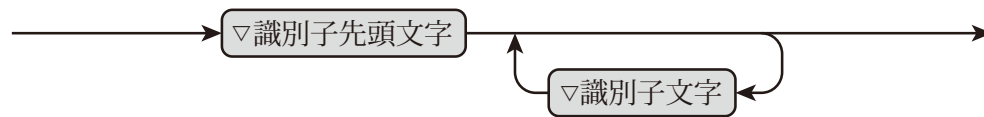


Duskul 構文図 (version 0.1.1)

(1) 字句要素

字句要素を構成する文字と文字の間には、空白やタブ、改行は入れません。

(1.1) 識別子



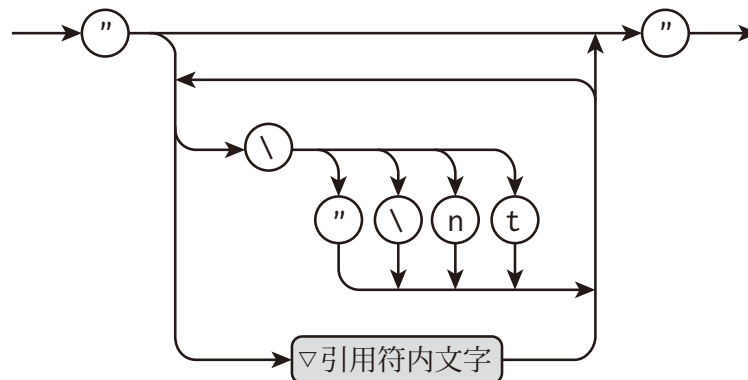
▽識別子先頭文字 = 英小文字、英大文字 (a-z, A-Z)

▽識別子文字 = 識別子先頭文字, 10 進数字 (0-9)

(1.2) 整数定数



(1.3) 文字列



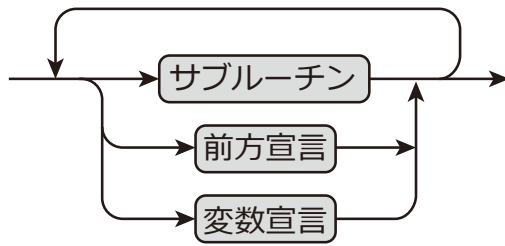
▽引用符内文字 = ASCII 文字のうち、0x20, 0x21, 0x23 から 0x5b、0x5d から 0x7e (※)

ASCII 文字を含まない UTF-8 エンコードの Unicode 文字

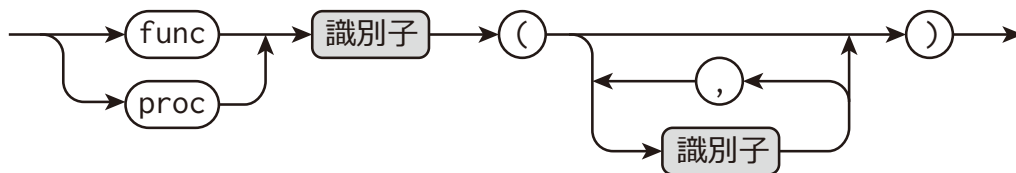
※ 空白 (0x20) からチルダ (0x7e) までのうち、「"」と「\」を除いた文字。

(2) 宣言、サブルーチン

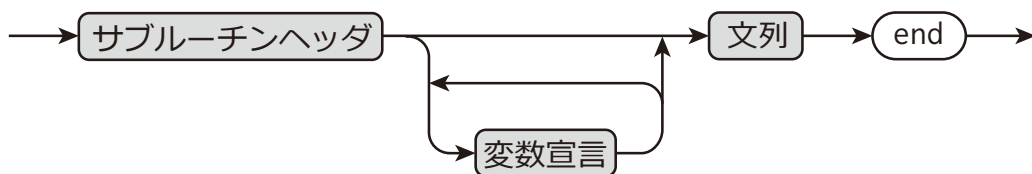
(2.1) プログラム



(2.2) サブルーチンヘッダ



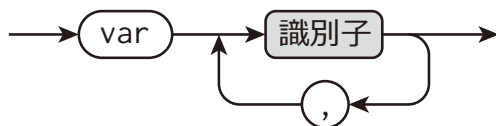
(2.3) サブルーチン



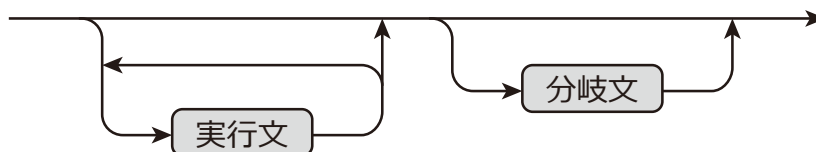
(2.4) 前方宣言



(2.5) 変数宣言

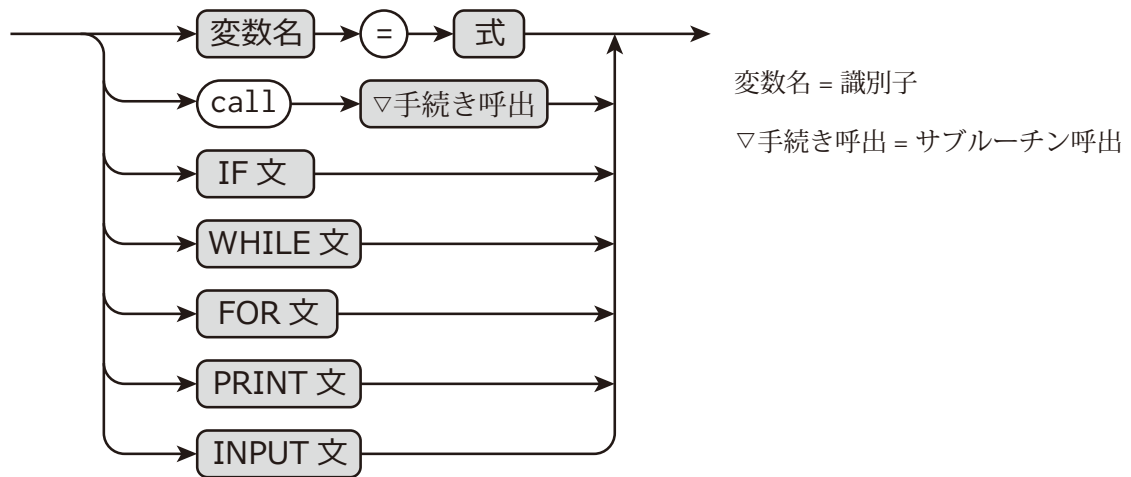


(2.6) 文列

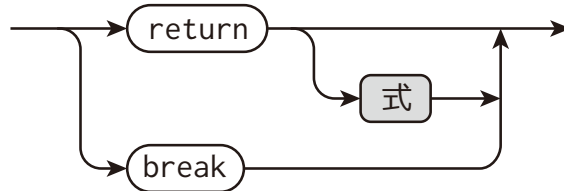


(3) 文

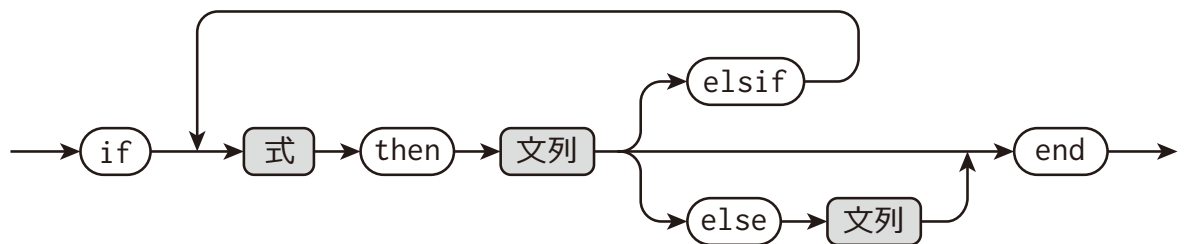
(3.1) 実行文



(3.2) 分岐文



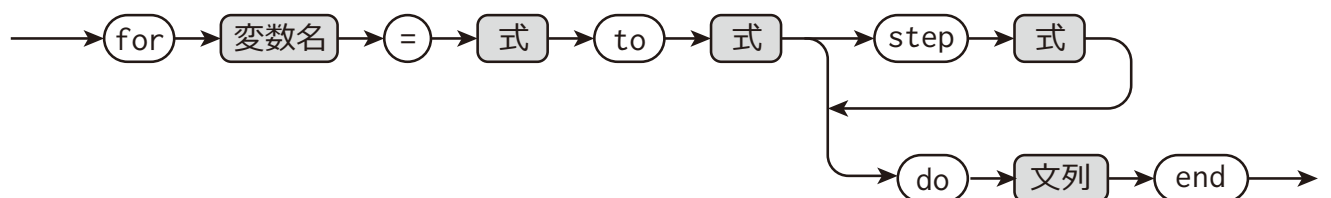
(3.3) IF 文



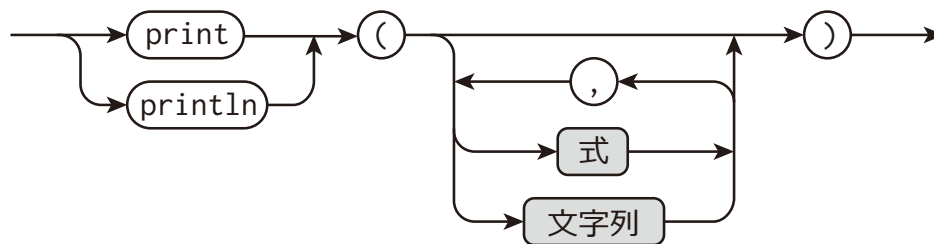
(3.4) WHILE 文



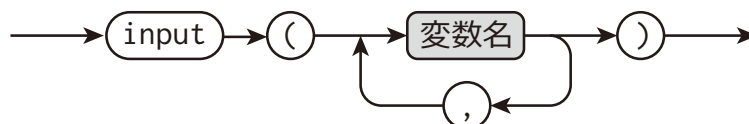
(3.5) FOR 文



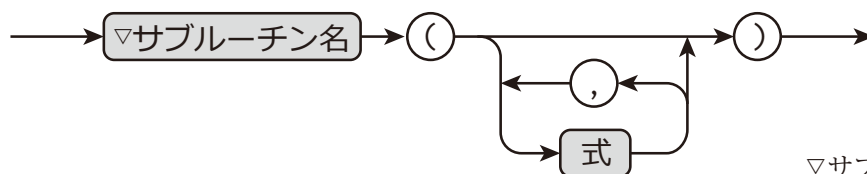
(3.7) PRINT 文



(3.8) INPUT 文



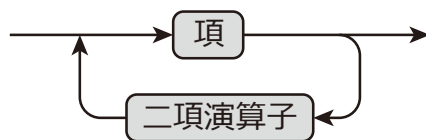
(3.9) サブルーチン呼出



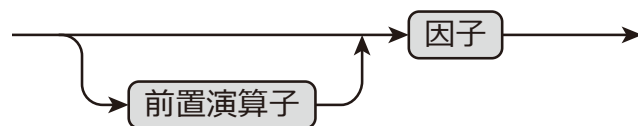
▽サブルーチン名 = 識別子

(4) 式

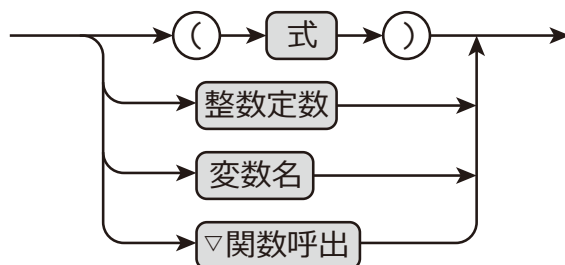
(4.1) 式



(4.2) 項



(4.3) 因子



▽関数呼出 = サブルーチン呼出

(4.4) 二項演算子

二項演算子 = 'and' | 'or'

二項演算子 = '==' | '<>' | '>' | '>=' | '<' | '<='

二項演算子 = '+' | '-' | '*' | '/' | '%'

(4.5) 前置演算子

前置演算子 = '+' | '-' | 'not'